

箇所番号
502／210

(令和3年 8月12日～8月15日発生8月豪雨災害)
令和4年度 農業用施設災害復旧事業(R3繰越) 重光堰地区 頭首工復旧工事
金抜き設計書

【当 初】

事業主体名 安曇野市

総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	50 1 1 中信（2） 04.10.01		
	当 世 代		前 世 代
前払率（%） 消費税率（%） 工種 契約保証方法 施工地域区分 現場環境改善費	40 10 % 22 河川工事 01 金銭的保証 09 補正無し 01 率分計上有り		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0002

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						
河川用水路工						
堰堤土工						
作業土工						
掘削 土砂 障害なし オープンカット			式			0
	1,450	m 3				施工 第0-0012号表
床掘り 土砂 標準						0
	2,070	m 3				施工 第0-0014号表
盛土工						
			式			
路体（築堤）盛土【堰堤土】 4.0m以上 10,000m3以上						0
	17,800	m 3				施工 第0-0015号表
締固工 埋戻し【堰堤土】						0
	198	m 3				施工 第0-0016号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込（ルーズ）【埋戻投入】 土砂 土量50,000m3未満					0
	1,640	m 3			施工 第0-0018号表
締固工 埋戻し【埋戻締固め】					0
	1,470	m 3			施工 第0-0019号表
不足土河川内採取					
		式			
掘削【堰堤土】 土砂 障害なし オープンカット					0
	18,100	m 3			施工 第0-0020号表
不整地運搬【堰堤土】 ∴ 1 8 0 m以下					0
	18,100	m 3			施工 第0-0021号表
整形仕上げ工					
		式			
法面整形 盛土部 法面締固めなし					0
	823	m 2			施工 第0-0022号表
堰堤復旧工					
堤体かご工復旧					
		式			

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ふとんかご (H= 5 0 0) 既設材石利用 設置 スロープ式 詰石量5.7m3/10m	1,326	m				科目 第0001号表
ふとんかご (H=500) 設置 スロープ式 詰石量5.7m3/10m	1,338	m				0 施工 第0-0023号表
積込 (ルーズ) 【詰石：調整部等】 岩塊・玉石 土量50,000m3未満	36	m 3				0 施工 第0-0024号表
吸出し防止材 厚 1 0 m m 【既設材石利用フトン簗部】	1,715	m2				0
金網組立・設置 【調整部】 線径：4.0 網目 5 0 m m	23	m2				科目 第0006号表
止杭打込	369	本				0 施工 第0-0025号表
根固工復旧		式				
袋詰め玉石工 3 t 用 (長期性能型) 流用又は採取材	128	袋				科目 第0007号表
構造物撤去工						

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物取壊し工						
			式			
じゃかご 撤去 径60cm						0
	3,709	m				施工 第0-0026号表
産業廃棄物処理工						
産業廃棄物運搬工						
			式			
＊産業廃棄物処分費＊						
輸送費【蛇籠鉄線】 片道計上 片道輸送距離20kmまで 製品長12m以内						0
	12	t				施工 第0-0027号表
プラ廃材運搬 標準 DID区間なし 15.5km以下 バックホウ						0
	3.8	m ³				施工 第0-0028号表
産業廃棄物処理工						
			式			
＊産業廃棄物処分費＊						

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
混合廃棄物【蛇籠鉄線】						
	12,463	k g				
廃プラ処理費 大型土のう袋						
	1,081	k g				
仮設工						
任意仮設工						
	1	式				
指定仮設工						
仮設土留・仮締切工						
		式				
河川瀬回工 (河川上流部) B=3.0m H=2.0m						
	160	m				科目 第0005号表
仮締切工1型 (河川上流部) 大型土のう3段積						
	68	m				科目 第0002号表
仮締切工2型 (堰堤部) 大型土のう1段積(新設)						
	71	m				科目 第0003号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

頁0-0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮締切工 2 型 (堰堤部) 大型土のう 1 段積 (既設利用)						科目 第0004号表
	153		m			
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊						
＊ ＊ 現場環境改善費 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設 費率分 ＊ ＊						
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊						
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊						
＊ 現場管理費 ＊						
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊						
＊ 一般管理費 等 ＊						

(工事費内訳書)

* * 本工事費 * *

頁0-0008

[illegible]

ふとんかご (H=500) 既設材石利用

科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0010

設置	スロープ式	詰石量5.7m3/10m	10	m	
施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役					0
	0.27	人			
特殊作業員					0
	0.29	人			
普通作業員					0
	1.00	人			
ふとんかご（パネルタイプ） GS－3 4．0×15×高50×幅120					0
	10.0	m			
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次∴山積0．8m3					0
	1.60	時間			
軽油					0
	26.0	L			
特殊運転手					0
	0.26	人			
*** 合 計 ***					
	10	m			
*** 単位当り ***					
	1	m			

仮締切工 1 型

科目内訳表

科目 第0002号表

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削【設置】 土砂 障害なし オープンカット						0
		19.5	m 3			施工 第0-0001号表
掘削【撤去】 土砂 障害なし オープンカット						0
		19.5	m 3			施工 第0-0002号表
整地【撤去】 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満)						0
		19.5	m 3			施工 第0-0003号表
土工用マット (シート類) 敷設～撤去 ブルーシート # 3 0 0 0						0
		5.3	m 2			施工 第0-0004号表
締切工 ∴作業半径 6 m以下 現地土						0
		3	袋			施工 第0-0005号表
締切工 ∴作業半径 6 m以下						0
		3	袋			施工 第0-0007号表
*** 単位当り ***						
		1	m			

仮締切工 2 型

科目内訳表

科目 第0003号表

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削【設置】 土砂 障害なし オープンカット						0
		18.3	m 3			施工 第0-0001号表
掘削【撤去】 土砂 障害なし オープンカット						0
		10.6	m 3			施工 第0-0002号表
整地【撤去】 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満)						0
		10.6	m 3			施工 第0-0003号表
土工用マット (シート類) 敷設～撤去 ブルーシート # 3 0 0 0						0
		4.9	m 2			施工 第0-0004号表
締切工 ∴作業半径 6 m以下 現地土						0
		1	袋			施工 第0-0005号表
締切工 ∴作業半径 6 m以下						0
		1	袋			施工 第0-0007号表
*** 単位当り ***						
		1	m			

仮締切工 2 型

科目内訳表

科目 第0004号表

頁0-0013

施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
掘削【設置】 土砂 障害なし オープンカット						0
		18.3	m 3			施工 第0-0001号表
掘削【撤去】 土砂 障害なし オープンカット						0
		10.6	m 3			施工 第0-0002号表
整地【撤去】 敷均し(ルーズ) 標準(10,000m3未満)						0
		10.6	m 3			施工 第0-0003号表
土工用マット (シート類) 敷設～撤去 ブルーシート # 3 0 0 0						0
		4.9	m 2			施工 第0-0004号表
大型土のう積込 (ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満						0
		1	m 3			施工 第0-0008号表
大型土のう不整地運搬 ∴ 4 0 0 m以下						0
		1	m 3			施工 第0-0009号表
締切工 ∴ 作業半径 6 m以下						0
		1	袋			施工 第0-0011号表
締切工 ∴ 作業半径 6 m以下						0
		1	袋			施工 第0-0007号表
*** 単位当り ***						
		1	m			

科目内訳表

頁0-0014

1 m

[illegible]

金網組立・設置【調整部】

科目内訳表

科目 第0006号表

線径：4.0 網目50mm		24	m2		
施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ひし形金網 Z－S G 3 線径4.0mm網目50mm 亜鉛メッキ					
	24	m2			
土木一般世話役					0 1
	0.18	人			
普通作業員					0 1
	0.56	人			
諸雑費					
	2	%			
*** 合 計 ***					
	24	m2			
*** 単位当り ***					
	1	m2			

袋詰め玉石工

科目内訳表

科目 第0007号表

頁0-0016

3 t 用（長期性能型）		流用又は採取材				38	袋
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役							0 1
		1		人			
特殊作業員							0 1
		1		人			
普通作業員							0 1
		2		人			
袋詰め材 3 t 用							
		38		袋			
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ〕賃料 排ガス3次 （長期割引後）							0
		1		日			
バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料 超低騒音・排ガス3次・山積0.8m3(長期割引)							0
		1.41		日			
特殊運転手							0
		1		人			
軽油							0
		117		L			
＊雑材料＊							
		2		%			

科目内訳表

頁0-0017

流用又は採取材

38

袋考

[illegible]

科目内訳表

頁0-0018

100

m[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0019

掘削【設置】

土砂 障害なし

機械構成比： 47.36%

労務構成比： 34.34%

材料構成比： 18.30%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1

m 3

当り

施工 第0-0001号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次 \therefore 山積0.8m ³	47.36%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	34.34%	人		運転手（特殊）		
軽油	18.30%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：5,000m ³ 以上10,000m ³ 未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0020

掘削【撤去】

土砂 障害なし

オープンカット

施工 第0-0002号表

1

m 3 当り

機械構成比： 47.36%

労務構成比：

34.34%

材料構成比：

18.30%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次 \therefore 山積0.8m ³	47.36%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	34.34%	人		運転手（特殊）		
軽油	18.30%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：5,000m ³ 未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0021

整地【撤去】

敷均し(ルース)

標準(10,000m3未満)

施工 第0-0003号表

1 m 3 当り

機械構成比： 25.57% 労務構成比： 50.73% 材料構成比： 23.70% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 超低騒音・～2011年規制	25.57%	日		バックホウ〔クローラ型〕賃料		
特殊運転手	50.73%	人		運転手（特殊）		
軽油	23.70%	L		軽油 1．2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：敷均し(ルース) 障害の有無：障害なし				施工数量：標準(10,000m3未満)		

土工用マット（シート類） 敷設～撤去
ブルーシート #3000

頁0-0022

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0023

締切工 ∴作業半径6 m以下		現地土		施工 第0-0005号表		1 日	36	袋	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考			
土木一般世話役	1.00		人						
特殊作業員	1.00		人						
普通作業員	1.00		人						
諸雑費	4.00		%						
大型土のう 110×108cm	36.00		袋						
バックホウ(ｸﾚｰﾝ機能付)(機械賃料) 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 超低騒音排対型3次∴賃料長期割引有(30日	1.39		日			施工 第0-0006号表			
軽油	98		L						
特殊運転手	1.00		人						
合計			袋						
*** 単位当り ***	1		袋			1日当たり作業量(袋)= 36			
施工区分：製作・設置（設置作業半径6 m以下） 土のう袋単価： 1工事当たり総供用日数区分（バックホウ）：30日以上				採取土区分： 現地土 バックホウ排出ガス区分：超低騒音排対型3次					

バックホウ(クロー型クレーン機能付) (機械賃料)

頁0-0024

山積0.8(平積0.6)m³ 2.9t吊

超低騒音排対型 3 次: 賃料長期割引有 (30 日)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0025

締切工

∴作業半径6 m以下

施工 第0-0007号表

1 日 144

袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.00	人			
特殊作業員	1.00	人			
バックホウ(ｸﾛｰﾗ型ｸﾚﾝ機能付)(機械賃料) 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 超低騒音排対型3次∴賃料長期割引有(30日	1.26	日			施工 第0-0006号表
軽油	74	L			
特殊運転手	1.00	人			
合計		袋			1日当たり作業量(袋)= 144
*** 単位当り ***	1	袋			
施工区分：撤去（作業半径6 m以下） 1工事当たり総供用日数区分（バックホウ）：30日以上			バックホウ排出ガス区分：超低騒音排対型3次		

施 工 内 訳 表

頁0-0026

大型土のう積込（ルーズ）

土砂

土量50,000m3未満

施工 第0-0008号表

1 m3 当り

機械構成比： 42.99% 労務構成比： 39.35% 材料構成比： 17.66% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次：山積0.8m3	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施工内訳表

頁0-0027

大型土のう不整地運搬

$\therefore 400\text{ m}$ 以下

施工 第0-0009号表

112 m 3 当り

[illegible]

不整地運搬車（機械損料）

施工 第0-0010号表

1 供用日 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0029

締切工

∴作業半径6 m以下

施工 第0-0011号表

1 日 86

袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.00	人			
特殊作業員	1.00	人			
普通作業員	1.00	人			
バックホウ(ｸﾚｰﾝ型ｸﾚｰﾝ機能付)(機械賃料) 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 超低騒音排対型3次∴賃料長期割引有(30日	1.36	日			施工 第0-0006号表
軽油	88	L			
特殊運転手	1.00	人			
合計		袋			1日当たり作業量(袋)= 86
*** 単位当り ***	1	袋			
施工区分：設置（作業半径6 m以下） 1工事当たり総供用日数区分（バックホウ）：30日以上			バックホウ排出ガス区分：超低騒音排対型3次		

施 工 内 訳 表

頁0-0030

掘削
土砂 障害なし
機械構成比： 47.36% 労務構成比： 34.34% 材料構成比： 18.30% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

オープンカット

施工 第0-0012号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 超低騒音・排ガス3次 \therefore 山積0.8m ³	47.36%	供用日		バックホウ (クローラ型) [標準型] 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	34.34%	人		運転手 (特殊)		
軽油	18.30%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：5,000m ³ 未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0031

整地

敷均し(ルース)

標準(10,000m3未満)

施工 第0-0013号表

1

m 3 当り

機械構成比： 25.57% 労務構成比： 50.73% 材料構成比： 23.70% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ〔クローラ型〕賃料 超低騒音・～2011年規制	25.57%	日		バックホウ〔クローラ型〕賃料		
特殊運転手	50.73%	人		運転手(特殊)		
軽油	23.70%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：敷均し(ルース) 障害の有無：障害なし				施工数量：標準(10,000m3未満)		

施 工 内 訳 表

頁0-0032

床掘り
土砂
機械構成比：25.15%
標準

労務構成比：51.34%
標準

材料構成比：23.51%
標準

市場単価構成比：0.00%
標準

標準単価：1
m 3 当り

施工 第0-0014号表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型] 賃料 超低騒音・排ガス3次：山積0.8m3 (長期割引)	25.15%	日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
特殊運転手	51.34%	人		運転手 (特殊)		
軽油	23.51%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 土留方式の種類：土留なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				施工方法：標準 障害の有無：障害なし		

施 工 内 訳 表

頁0-0033

路体（築堤）盛土【堰堤土】

施工 第0-0015号表

4.0m以上 10,000m3以上 1 m 3 当り
機械構成比： 27.74% 労務構成比： 56.89% 材料構成比： 15.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ブルドーザ〔湿地〕賃料	19.98%	日		ブルドーザ〔湿地〕賃料		
振動ローラ〔フラットシングルドラム〕賃料	7.76%	日		振動ローラ〔フラットシングルドラム〕賃料		
特殊運転手	35.25%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	21.64%	人		普通作業員		
軽油	15.37%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0034

路体（築堤）盛土【堰堤土】

施工 第0-0015号表

4.0m以上 10,000m3以上 1 m 3 当り
機械構成比： 27.74% 労務構成比： 56.89% 材料構成比： 15.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
施工幅員：4.0m以上 障害の有無：障害なし				施工数量：10,000m3以上		

締固工
埋戻し【堰堤土】

頁0-0035

[illegible]

施工 第0-0017号表

∴賃料長期割引有(30日以上)

1 目 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0037

積込（ルーズ）【埋戻投入】

土砂

土量50,000m3未満

施工 第0-0018号表

1 m 3 当り

機械構成比： 42.99% 労務構成比： 39.35% 材料構成比： 17.66% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次：山積0.8m ³	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施工内訳表

頁0-0038

締固工
埋戻し【埋戻締固め】
施工 第0-0019号表
1 日 50 m 3 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0039

掘削【堰堤土】

土砂 障害なし

オープンカット

施工 第0-0020号表

1 m 3 当り

機械構成比： 47.36% 労務構成比： 34.34% 材料構成比： 18.30% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次 \therefore 山積0.8m ³	47.36%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 超低騒音・排ガス3次		
特殊運転手	34.34%	人		運転手（特殊）		
軽油	18.30%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 押土の有無：押土なし 施工数量：10,000m ³ 以上50,000m ³ 未満				施工方法：オープンカット 障害の有無：障害なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施工内訳表

頁0-0040

不整地運搬【堰堤土】

∴ 1 8 0 m以下

施工 第0-0021号表

182 m 3 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0041

法面整形

施工 第0-0022号表

盛土部

法面締固めなし

1

m 2 当り

機械構成比： 13.67% 労務構成比： 73.98% 材料構成比： 12.35% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型] 賃料 超低騒音・排ガス3次：山積0.8m3 (長期割引)	13.67%	日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
普通作業員	32.92%	人		普通作業員		
特殊運転手	28.11%	人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役	12.95%	人		土木一般世話役		
軽油	12.35%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

頁0-0042

法面整形

施工 第0-0022号表

盛土部

法面締固めなし

1

m 2 当り

機械構成比： 13.67% 労務構成比： 73.98% 材料構成比： 12.35% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
整形箇所：盛土部 現場制約の有無：現場制約なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				法面締固めの有無：法面締固めなし 土質：ㄥ質土、砂及び砂質土、粘性土 費用の内訳：全ての費用		

施 工 内 訳 表

頁0-0043

ふとんかご (H=500)

施工 第0-0023号表

設置

スロープ式

詰石量5.7m3/10m

1

m 当り

機械構成比： 5.93%

労務構成比： 32.46%

材料構成比： 61.61%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次:山積0.8m3	5.93%	供用日		バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
普通作業員	16.72%	人		普通作業員		
特殊作業員	5.54%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	5.33%	人		土木一般世話役		
特殊運転手	4.87%	人		運転手 (特殊)		
割栗石 (詰石用) 150~200mm	27.94%	m3		割栗石 150~200mm		

施 工 内 訳 表

頁0-0044

ふとんかご (H=500)

施工 第0-0023号表

設置 スロープ 式 詰石量5.7m3/10m 1 m 当り
機械構成比： 5.93% 労務構成比： 32.46% 材料構成比： 61.61% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ふとんかご (パネルタイプ) G S - 3 4 . 0 × 1 5 × 高 5 0 × 幅 1 2 0	26.02%	m		ふとんかご (パネルタイプ) G S - 3 4 . 0 × 1 3 × 高 5 0 × 幅 1 2 0		
軽油	2.28%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：設置 ふとんかご規格：高さ50cm×幅120cm 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				ふとんかご種別：スロープ 式 線形・網目：線径4.0 網目15		

施 工 内 訳 表

頁0-0045

積込（ルーズ）【詰石：調整部等】

施工 第0-0024号表

岩塊・玉石

土量50,000m3未満

1

m 3

当り

機械構成比： 42.99%

労務構成比：

39.35%

材料構成比：

17.66%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次：山積0.8m3	42.99%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
特殊運転手	39.35%	人		運転手（特殊）		
軽油	17.66%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：岩塊・玉石 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施 工 内 訳 表

止杭打込

施工 第0-0025号表

1

本 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 78.03% 材料構成比： 21.97% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
普通作業員	78.03%	人		普通作業員		
松杭丸太 (県産材) 長1.5m 末口9 c m	21.97%	本		杭丸太 (松) 長 1 . 5 m × 末 口 9 c m 皮付 先端加工		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施 工 内 訳 表

頁0-0047

じゃかご

撤去

径60cm

施工 第0-0026号表

1

m 当り

機械構成比： 17.93% 労務構成比： 75.19% 材料構成比： 6.88% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次：山積0.8m3	17.93%	供用日		バックホウ（クローラ型）〔標準型〕 排ガス2次		
普通作業員	31.47%	人		普通作業員		
特殊作業員	21.57%	人		特殊作業員		
特殊運転手	14.73%	人		運転手（特殊）		
土木一般世話役	7.42%	人		土木一般世話役		
軽油	6.88%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		

施 工 内 訳 表

施工 第0-0026号表

頁0-0048

じゃかご

撤去

径60cm

1

m

当り

機械構成比： 17.93% 労務構成比： 75.19% 材料構成比： 6.88% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
作業区分：撤去 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				じゃかご径：径60cm		

施工内訳表

頁0-0049

輸送費【蛇籠鉄線】

施工 第0-0027号表

片道計上 片道輸送距離 20 kmまで

製品長12m以内

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0050

プラ廃材運搬

施工 第0-0028号表

標準 DID区間なし 15.5km以下

バックホ

1

m 3 当り

機械構成比： 47.26% 労務構成比： 37.92% 材料構成比： 14.82% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価 (東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] ∴ 1 0 t 積級	47.26%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
一般運転手	37.92%	人		運転手 (一般)		
軽油	14.82%	L		軽油 1. 2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：標準 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：15.5km以下				積込機種・規格：バックホ DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
堰堤土工		横断面図・標準断面図 より				
掘削	BH:標準	別紙:土積計算書 より	1454.60	≒ 1,450	m3	
床掘	BH:標準	別紙:土積計算書 より	2073.20	≒ 2,070	m3	
盛土量		別紙:盛土 ÷ 0.9 =	19946.90			
路体盛土(築堤)	(堰堤土) 4.0m以上	別紙:土積計算書 より 17,952.2 - 198.0 =	17754.2	≒ 17,800	m3	
盛土締固め(堰堤土)	振動ローラ ハンドガイド式		198.00	≒ 198	m3	
積込(ルース)	(埋戻投入)	別紙計算書 1,472.8 m3 / 0.9 =	1636.40	≒ 1,640	m3	
締固工(埋戻締固め)	振動ローラ ハンドガイド式		1472.80	≒ 1,470	m3	
管理道河川内採取						
掘削(堰堤土)	河川内土利用	(掘削 + 床掘) - (盛土量 + 埋戻投入) =	-18055.50	≒ △ 18,100	m3	
不整地運搬(堰堤土)			-18055.50	≒ △ 18,100	m3	
整形仕上げ工						
法面整形		BL1 : 363.0m2 + BL2 : 460.0m2 =	823.000	≒ 823	m2	

土積計算書

側 点	距 離		切 土 (m3)				盛 土 (m3)				切土仕上げ(m2)		盛土仕上げ(m2)	
	(m)		切 土 C1		床 掘 C2		盛 土 B1		埋 戻 B2		CL		BL	
	点 間	平 均	断面	①土量	断面	②土量	断面	④土量	断面	⑤土量	断面	面積	断面	面積
IP. 1		6.98	17.9	124.9	4.1	28.6	3.8	26.5	5.1	35.6				
20.0	13.95	16.98	9.7	164.7	6.4	108.7	3.9	66.2	5.0	84.9				
40.0	20.00	20.00	13.8	276.0	6.9	138.0	4.0	80.0	5.2	104.0				
60.0	20.00	20.00	16.1	322.0	6.7	134.0	42.8	856.0	5.3	106.0				
80.0	20.00	20.00	13.9	278.0	5.0	100.0	123.8	2476.0	6.2	124.0				
100.0	20.00	20.00	7.6	152.0	11.4	228.0	144.7	2894.0	8.0	160.0				
120.0	20.00	20.00	1.6	32.0	14.8	296.0	137.2	2744.0	8.2	164.0				
140.0	20.00	20.00	0.6	12.0	12.3	246.0	112.6	2252.0	8.2	164.0				
160.0	20.00	16.55			11.5	190.3	105.4	1744.4	8.3	137.4				
IP. 2	13.10	6.55			11.1	72.7	103.9	680.5	8.4	55.0				
IP. 2'		3.45			11.1	38.3	88.9	306.7	8.4	29.0				
180.0	6.90	13.45			13.5	181.6	98.8	1328.9	8.1	108.9				
200.0	20.00	20.00			4.0	80.0	67.6	1352.0	2.1	42.0				
220.0	20.00	20.00			6.0	120.0	44.8	896.0	3.9	78.0				
240.0	20.00	10.00			3.7	37.0	19.7	197.0	2.1	21.0				
240.0		5.00	9.3	46.5	7.4	37.0	5.2	26.0	5.9	29.5				
250.1	10.00	5.00	9.3	46.5	7.4	37.0	5.2	26.0	5.9	29.5				
合 計	243.95			1454.60		2073.20		17952.20		1472.80				

土積計算書(参考)

側点	距離 (m)		切土 (m3)				盛土 (m3)				切土仕上げ(m2)		盛土仕上げ(m2)	
			切土 C1		床掘 C2		盛土 B3		埋戻 B4		CL		BL1	
	点間	平均	断面	①土量	断面	②土量	断面	④土量	断面	⑤土量	断面	面積	断面	面積
盛土2.5m 未満							盛土内数							
IP. 1														
30.0		10.00												
50.0	20.00	15.00					1.2	18.0					2.2	33.0
60.0	10.00	15.00					1.2	18.0					2.2	33.0
80.0	20.00	20.00					1.2	24.0					2.2	44.0
100.0	20.00	20.00					1.2	24.0					2.2	44.0
120.0	20.00	20.00					1.2	24.0					2.2	44.0
140.0	20.00	20.00					1.2	24.0					2.2	44.0
160.0	20.00	16.55					1.2	19.9					2.2	36.4
IP. 2	13.10	6.55					1.2	7.9					2.2	14.4
IP. 2'		3.45					1.2	4.1					2.2	7.6
180.0	6.90	13.45					1.2	16.1					2.2	29.6
200.0	20.00	15.00					1.2	18.0					2.2	33.0
210.0	10.00	5.00												
合 計	180.00							198.00						363.00

土積計算書(参考)

[illegible]

計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
堰堤復旧工		平面図・標準断面図 より				
堤体かご工復旧						
フトン籠 1200×500	IP.1～240.0	$(240\text{m} - 6\text{m}) \times 11\text{段} =$	2574.00			
	240.0～250.0	$10\text{m} \times 9\text{段} =$	90.00			
	計		2664.00			
フトン籠(材石利用) 1200×500	材石利用じゃ籠 別紙計算書より	$(726.1 + 65.7 - \text{詰石: } 35.8) / 5.70\text{m}^3/10\text{m} =$	1326.000	≒ 1,326.0	m	
フトン籠 1200×500	網目15cm 割栗石15～20cm	$2,664.0\text{ m} - 1,326.0\text{ m} =$	1338.000	≒ 1,338.0	m	
積込(ルース) (詰石調整部)	BF	$234.0\text{m} \times 0.06 \times 2\text{箇所} + 10.0\text{m} \times 0.10 \times 2\text{箇所} =$	30.100			
	240.0～250.0	$2.40\text{m} \times 10.00\text{m} \times 1/2 \times 0.50\text{m} \times \text{ロス率: } 0.95 =$	5.700			
	計		35.800	≒ 36.0	m3	
吸出し防止材 (既設材石利用フトン籠部)	厚10mm	$(\text{延長: } 1,326.0\text{ m} \times \text{幅: } 1.20\text{m} + (10.0\text{m} \times 2.4\text{m} \times 1/2)) \times \text{ロス: } 1.07 =$	1715.400	≒ 1,715.0	m2	
金網組立・設置 (調整部)	240.0～250.0	$2.40 \times 1/2 \times 10.0 + (10.0 + 2.40 + \sqrt{(2.4^2 + 10.0^2)}) \times 0.50 =$	23.300	≒ 23.0	m2	
止杭打込	L=1.5m 末口9cm @2.0m	$(244.0\text{m} \div 2\text{m} + 1) \times 3\text{本} =$	369.000	≒ 369	本	

【既設材石利用】数量算出調書

名称	測点	点間距離 m	蛇籠延長	蛇籠平均長 (m)	蛇籠本数 点間距離÷0.6	総延長 (m)	石材量 (m3/10m)	利用石材 (m3)
じゃかごΦ600	IP.1	0.0	14.3					
〃	20	14.0	14.2	14.3	23	328.9	2.70	88.8
〃	40	20.0	14.0	14.1	33	465.3	2.70	125.6
〃	60	20.0	13.8	13.9	33	458.7	2.70	123.8
〃	80	20.0	13.6	13.7	33	452.1	2.70	122.1
〃	100	20.0	13.4	13.5	33	445.5	2.70	120.3
〃	120	20.0	10.7	12.1	33	399.3	2.70	107.8
〃	140	20.0	9.3	10.0	33	330.0	2.70	89.1
〃	160	20.0	8.7	9.0	33	297.0	2.70	80.2
〃	IP.2	13.1	8.0	8.4	22	184.8	2.70	49.9
合計					既設じゃかご撤去	3361.6		907.6

材石利用

907.6 × 0.8＝

726.1 m3

掘削時埋没等による

【既設材石利用】数量算出調書

名称	測点	点間距離 m	蛇籠延長	蛇籠平均長 (m)	蛇籠本数 点間距離÷0.6	総延長 (m)	石材量 (m3/10m)	利用石材 (m3)
じゃかごΦ600	IP.1	0.0						
〃	20	14.0		0.0	23	0.0	2.70	0.0
〃	40	20.0		0.0	33	0.0	2.70	0.0
〃	60	20.0		0.0	33	0.0	2.70	0.0
〃	80	20.0		0.0	33	0.0	2.70	0.0
〃	100	20.0		0.0	33	0.0	2.70	0.0
〃	120	20.0	2.5	1.3	33	42.9	2.70	11.6
〃	140	20.0	3.5	3.0	33	99.0	2.70	26.7
〃	160	20.0	3.8	3.7	33	122.1	2.70	33.0
〃	IP.2	13.1	3.8	3.8	22	83.6	2.70	22.6
合計					既設じゃかご撤去	347.6		93.9

材石利用

93.9 × 0.7 =

65.7 m3

掘削時埋没等による

計 算 調 書

[illegible]

計 算 調 書

[illegible]

計 算 調 書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
既設構造物処理						
産業廃棄物運搬工						
運搬(蛇籠鉄線)		蛇籠廃材[m] × 0.00336[t/m] = 16.8(kg・5m)/5.0m=3.36kg.m	12.46	≒ 12	t	
プラ廃材運搬	大型土のう袋 ブルーシート #3000	(0.31 ^[B] × 0.73 ^[W] × 0.33 ^[H])/10 ^[袋] × (3段 × 68 ^[河川] + 1段 × 224 ^[堰堤仮締切]) = 0.53m × 0.61m × 0.25m = 0.081m ³ (10枚)・・・新材梱包	3.200			
		1458 m ² / (5.4 × 3.6 × 10) = 7.5包 × 0.081m ³ =	0.608			
	計		3.808	≒ 3.8	m ³	
産業廃棄物処理工						
混合廃棄物 (蛇籠鉄線)		蛇籠廃材[m] × 3.36[kg/m] = 16.8(kg・5m)/5.0m=3.36kg.m	12462.91	≒ 12,463	kg	
廃プラ処理費	大型土のう重量 ブルーシート #3000	廃プラ運搬枚数[袋] × 2.0[kg/袋] = 廃プラ運搬[包] × 30.0[kg/10枚] =	856.00 225.00			
	計		1081.00	≒ 1,081.0	kg	

計 算 調 書

[illegible]

計 算 調 書

[illegible]

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1000		ふとんかご(H=500)既設材石利用	10m当り			
		設置 スロープ式				
世話役		別紙より	0.270	≒ 0.27	人	
特殊作業員		別紙より	0.290	≒ 0.29	人	
普通作業員		別紙より	1.000	≒ 1.00	人	
フトン簀	1200×500 網目 15	別紙より	10.000	≒ 10.00	m	
詰石	15～20cm	材石使用	—	—		
バックホウ	0.8m3級	別紙より	1.600	≒ 1.60	hr	
軽油		別紙より	26.000	≒ 26.00	リットル	
特殊運転手		別紙より	0.260	≒ 0.26	人	

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G2000		仮締切工1型	1m当り			
		(河川上流部)大型土のう3段積				
掘削 (設置)	BH	指定仮設標準図より	19.500	≒ 19.50	m3	
掘削 (撤去)	BH	//	19.500	≒ 19.50	m3	
整地 (撤去)	敷均し(ルス)	//	19.500	≒ 19.50	m3	
土工用マット(シート類) 敷設～撤去	ブルーシート #3000	1.0+1.8+2.0+0.5=	5.300	≒ 5.30	m2	
大型土のう 制作・設置工	現場採取	//	3.000	≒ 3	袋	
大型土のう 撤去		//	3.000	≒ 3	袋	

グループ単価計算調書

[illegible]

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G2150		仮締切工2型	1m当り			
		(堰堤部)大型土のう1段積(既設利用)				
掘削 (設置)	土砂	指定仮設標準図より	18.300	≒ 18.30	m3	
掘削 (撤去)		//	10.600	≒ 10.60	m3	
整地 (撤去)		//	10.600	≒ 10.60	m3	
土工用マット(シート類) 敷設～撤去	ブルーシート #3000	1.0+2.4+1.0+0.5=	4.900	≒ 4.90	m2	
大型土のう積込	積込ルース	1.0m3/袋	1.000	≒ 1.00	m3	
大型土のう不整地運搬	(水路工から) L=400m	//	1.000	≒ 1.00	m3	
大型土のう 設置工	現場採取		1.000	≒ 1	袋	
大型土のう 撤去		//	1.000	≒ 1	袋	

グループ単価計算調書

[illegible]

グループ単価計算調書

[illegible]

グループ単価計算調書

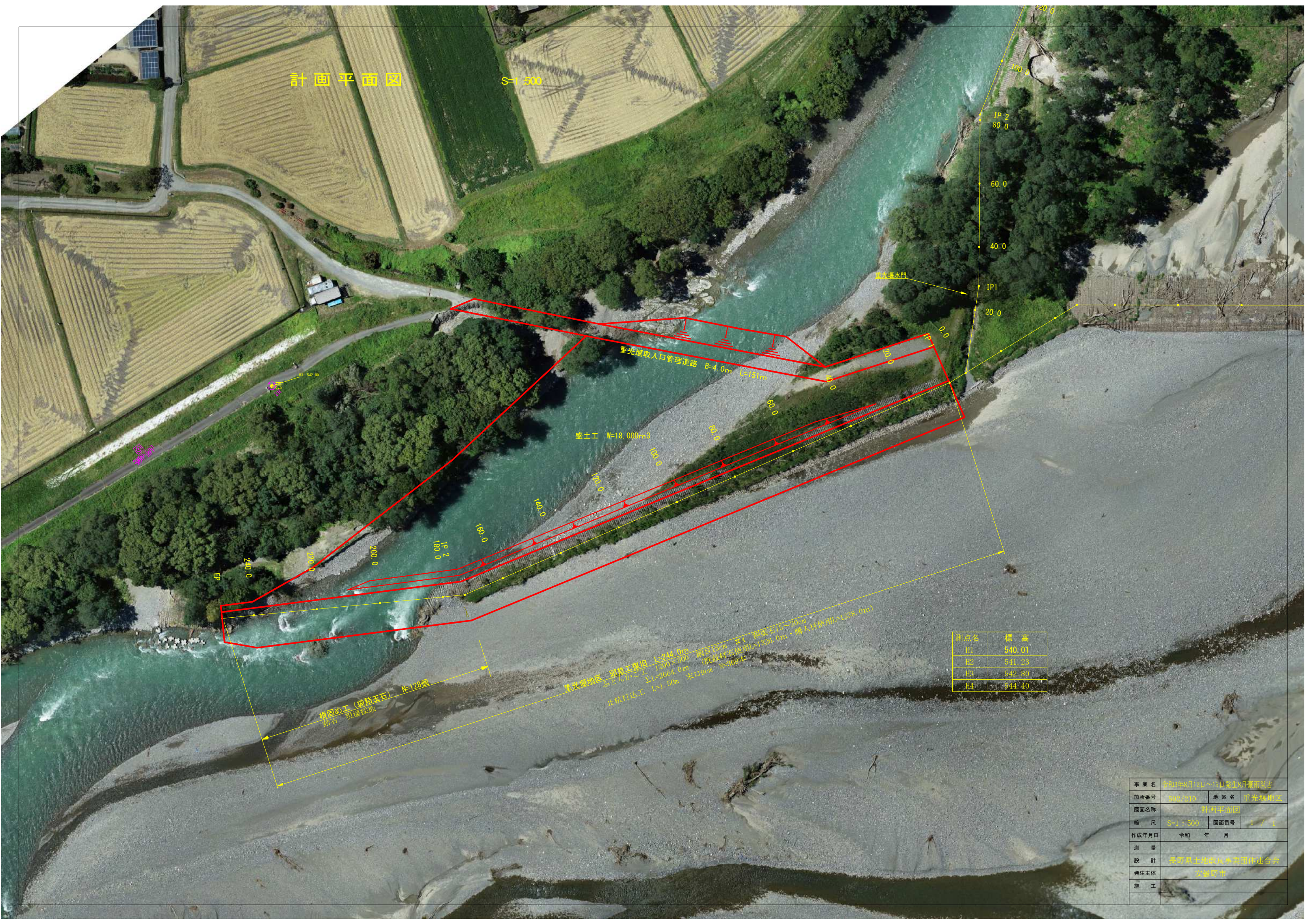
[illegible]

グループ単価計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1220		袋詰玉石工 3t用(長期性能型)	38袋 当り	建設部歩掛り使用 Ⅲ-2-⑭-1参照		
土木一般世話役		1人＝	1.000	≡	1 人	
特殊作業員		1人＝	1.000	≡	1 人	
普通作業員		2人＝	2.000	≡	2 人	
袋詰玉石用袋材			38.000	≡	38 袋	
ラフテレーンクレーン		1日＝	1.000	≡	1 日	
バックホー		1日×1.41＝	1.410	≡	1.41 日	
運転手(特殊)		1人＝	1.000	≡	1 人	
軽油			117.000	≡	117.00 リットル	
諸雑費			2.000	≡	2 %	労務費2%

計画平面図

S=1:500



重光堰取入口管理道路 B=4.0m L=131m

盛土工 W=18,000m³

根固め工 (袋詰玉石) N=128個
玉石 現場採取

重光堰地区 堰首工復旧 L=244.0m 涵管150φ 管4 結束石15×20cm
ふたんかき工 L=200×500 (砕石材料使用) L=1326.0m・鋪入材使用L=1238.0m
ΣL=3664.0m 末口9cm N=369本
止杭打込工 L=1.50m

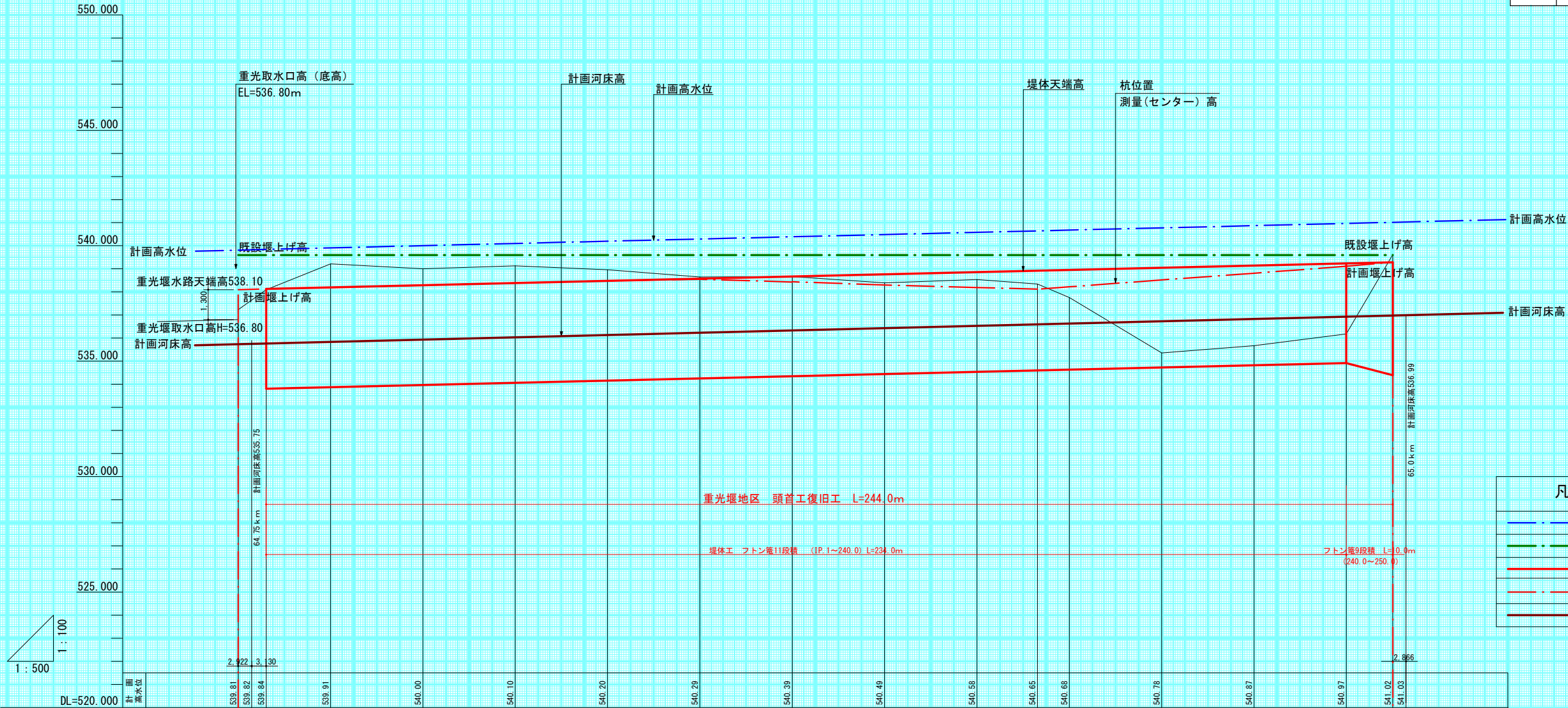
測点名	標高
H1	540.01
H2	541.23
H3	542.80
H4	544.40

事業名	令和5年8月12日～15日発生8月豪雨災害		
箇所番号	004210	地区名	重光堰地区
図面名称	計画平面図		
縮尺	S=1:500	図面番号	1 / 1
作成年月日	令和 年 月		
測量			
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市		
施工			

縦断面図
(重光堰(頭首工))

V=1:100
H=1:500

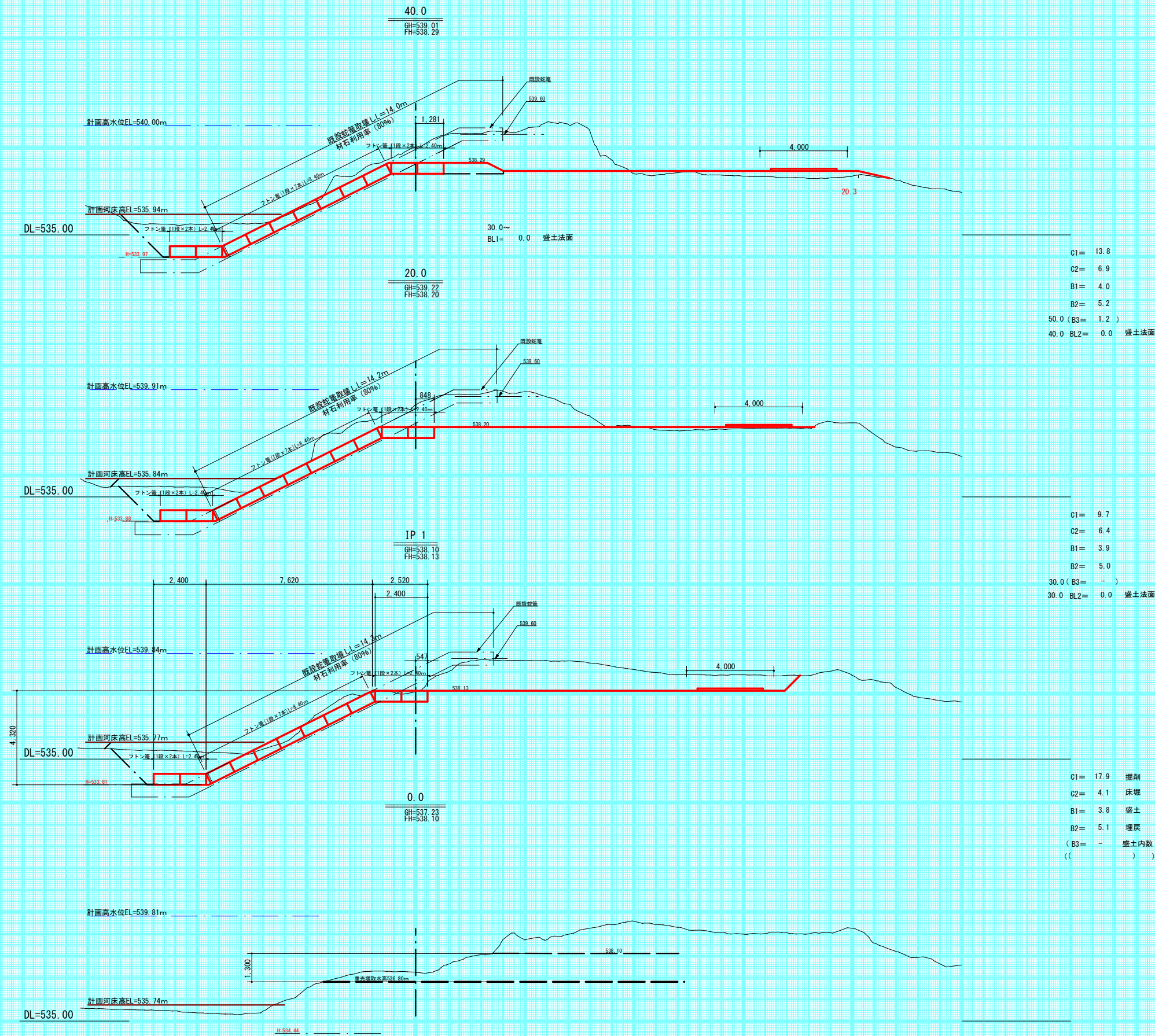
事業名	令和3年 8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区
図面名称	縦断面図		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	1 / 1
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			



凡 例	
— · —	計画高水位
— · —	既設堰上げ高
—	堤体天端高(底高)
— · —	杭位置 測量(センター) 高
—	計画河床高

現況				計画			堤体天端高配
測点	区間距離	追加距離	地盤高	河床高 (犀川河川)	計画高 (杭位置)	堤体天端高	
0.0	0.000	0.000	537.23	535.74	538.10	538.10	538.10
1P 1	6.052	6.052	538.10	535.77	538.13	538.13	538.13
20.0	13.948	20.000	539.22	535.84	538.20	538.20	538.20
40.0	20.000	40.000	539.01	535.94	538.29	538.29	538.29
60.0	20.000	60.000	539.13	536.03	538.39	538.39	538.39
80.0	20.000	80.000	538.96	536.13	538.49	538.49	538.49
100.0	20.000	100.000	538.65	536.23	538.55	538.55	538.58
120.0	20.000	120.000	538.66	536.33	538.43	538.43	538.69
140.0	20.000	140.000	538.40	536.43	538.30	538.30	538.78
160.0	20.000	160.000	538.54	536.53	538.19	538.19	538.87
1P 2	13.095	173.095	538.34	536.59	538.12	538.12	538.94
180.0	6.905	180.000	537.76	536.63	538.22	538.22	538.97
200.0	20.000	200.000	535.36	536.73	538.52	538.52	539.07
220.0	20.000	220.000	535.67	536.83	538.81	538.81	539.16
240.0	20.000	240.000	536.18	536.93	539.11	539.11	539.26
250.1	10.056	250.056	539.62	536.98	538.31	538.31	539.31

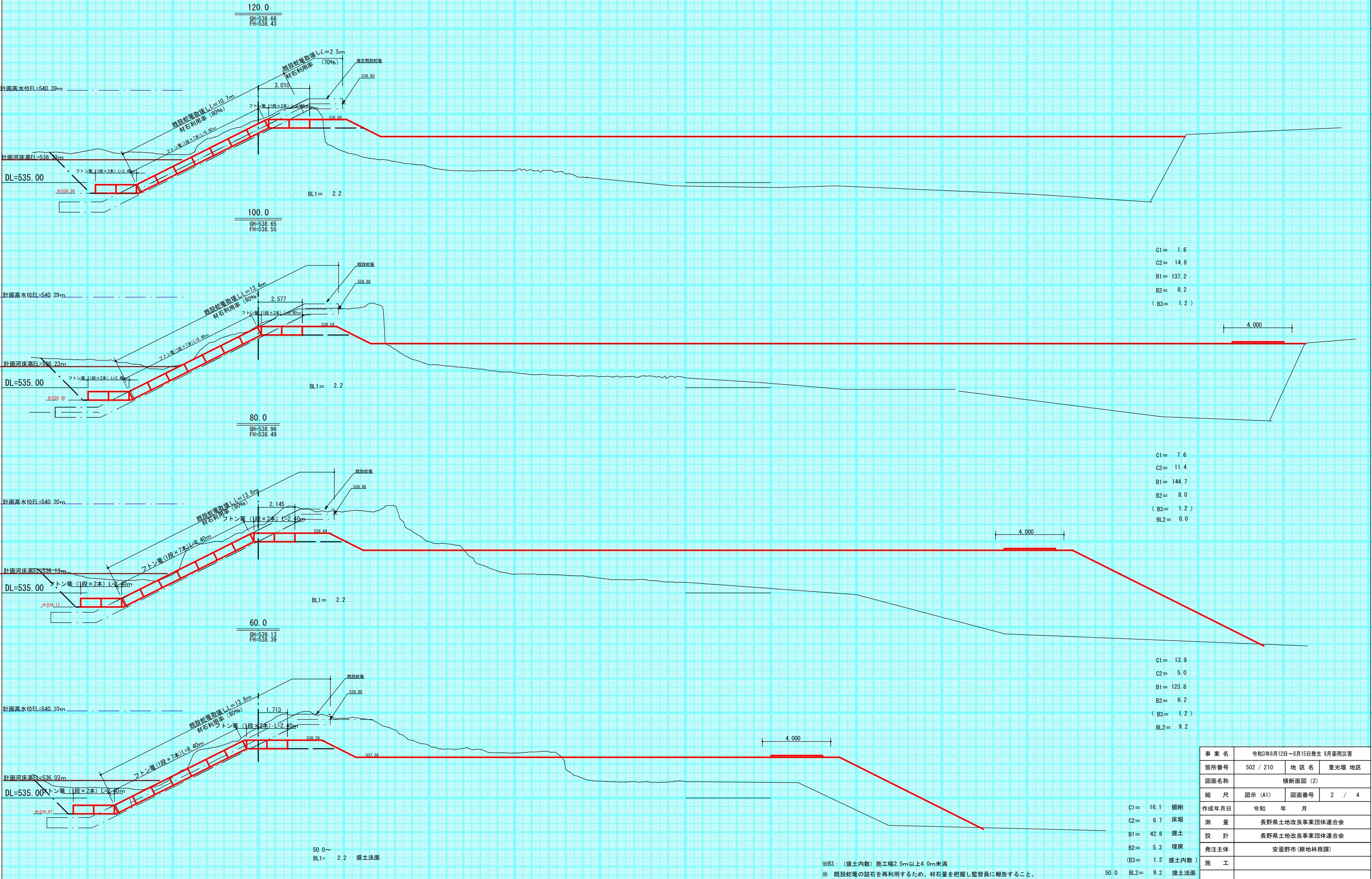
横断図(1) S=1:100
(重光堰(頭首工))



※B3: (盛土内数) 施工幅2.5m以上4.0m未満
※ 既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区
図面名称	横断面図 (1)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	1 / 4
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
免注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

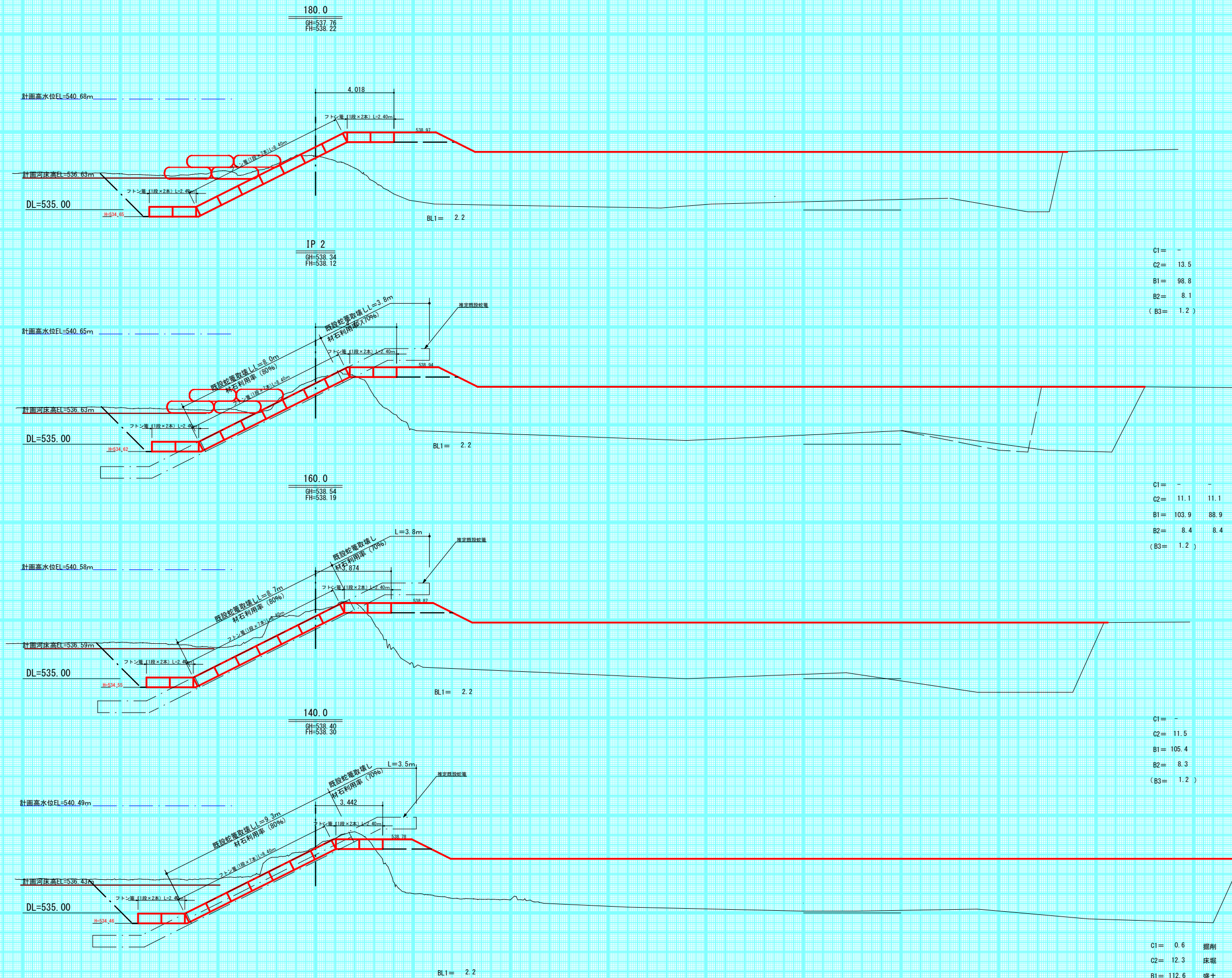
横断図(2) S=1:100
(重光堰(頭首工))



※B3: (盛土内数) 施工幅2.5m以上4.0m未満
※ 既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害			
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区	
図面名称	横断面図 (2)			
縮 尺	図示 (A1)	図面番号	2 / 4	
作成年月日	令和 年 月			
測 量	長野県土地改良事業団体連合会			
設 計	長野県土地改良事業団体連合会			
発注主体	安曇野市(耕地林務課)			
施 工				

横断図(3) S=1:100
(重光堰(頭首工))



C1= -
C2= 13.5
B1= 98.8
B2= 8.1
(B3= 1.2)

C1= -
C2= 11.1 11.1
B1= 103.9 88.9
B2= 8.4 8.4
(B3= 1.2)

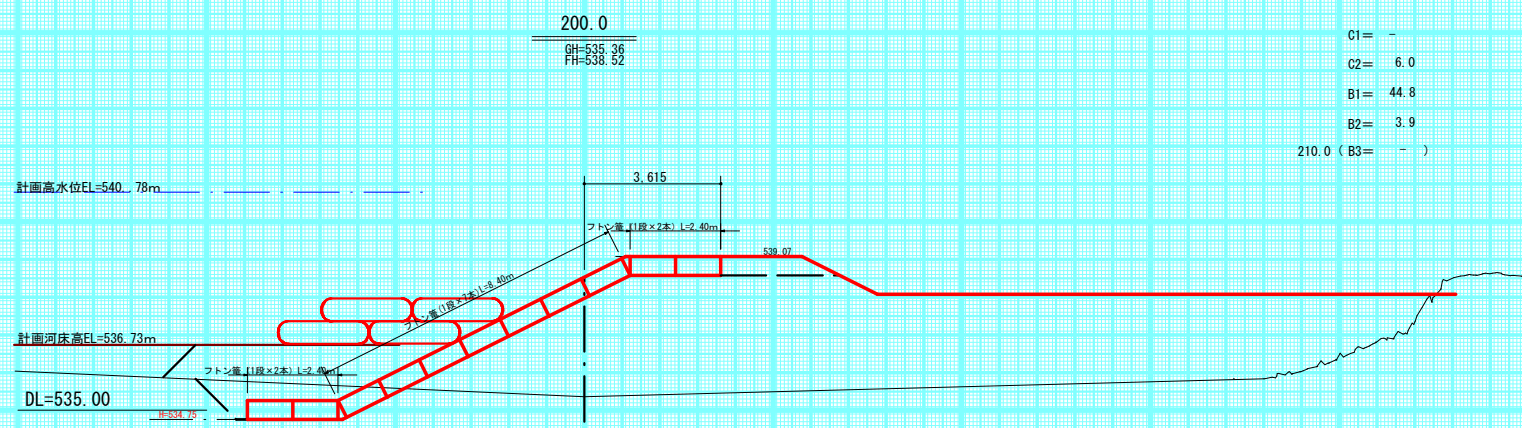
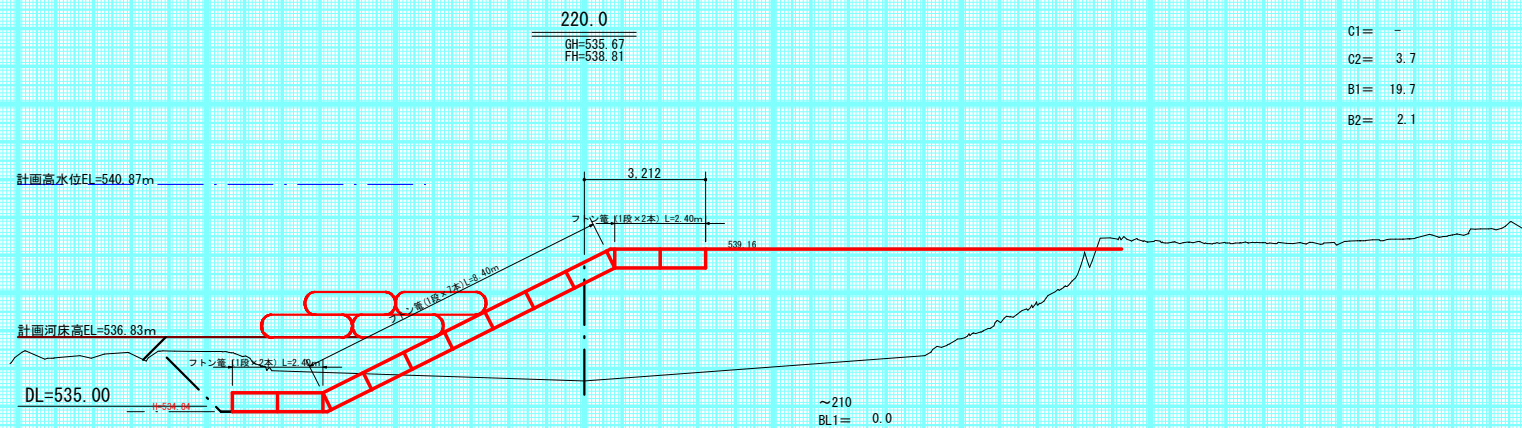
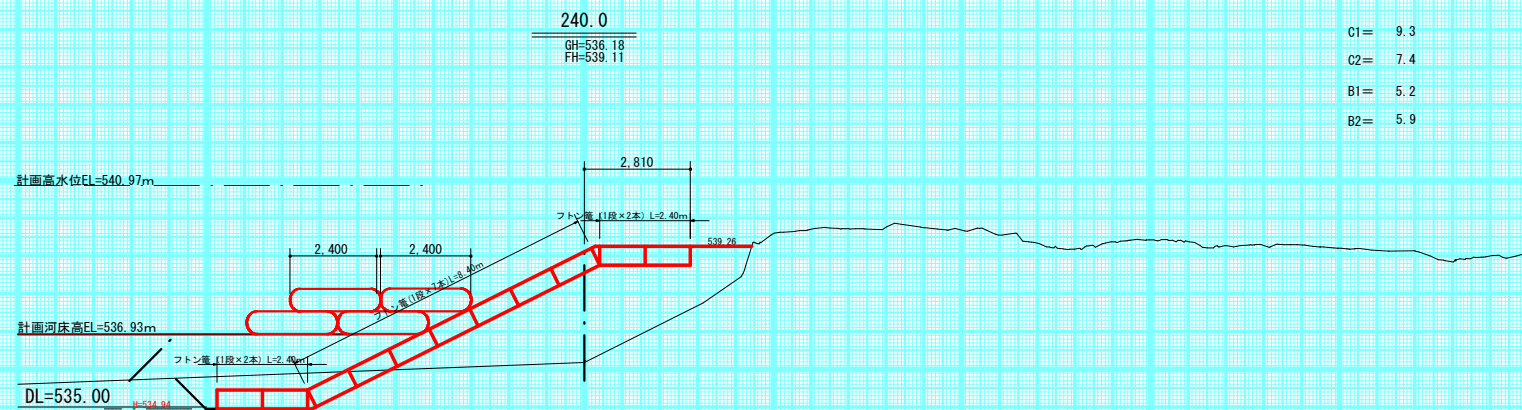
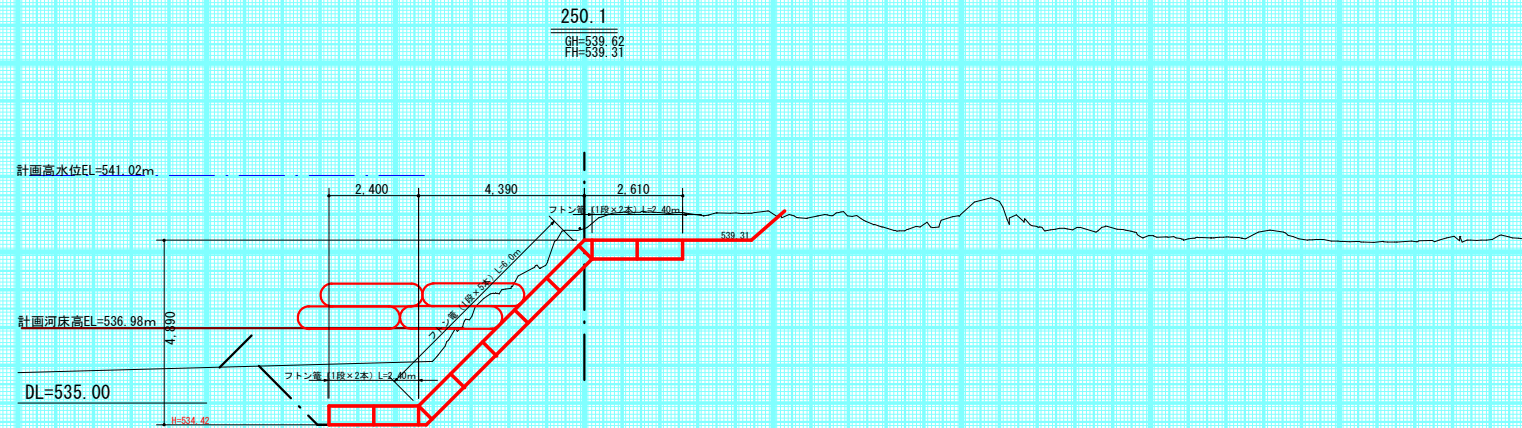
C1= -
C2= 11.5
B1= 105.4
B2= 8.3
(B3= 1.2)

C1= 0.6 掘削
C2= 12.3 床堀
B1= 112.6 盛土
B2= 8.2 埋戻
(B3= 1.2 盛土内数)

※B3: (盛土内数) 施工幅2.5m以上4.0m未満
※ 既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。

事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害			
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区	
図面名称	横断面図 (3)			
縮尺	図示 (A1)	図面番号	3 / 4	
作成年月日	令和 年 月			
測量	長野県土地改良事業団体連合会			
設計	長野県土地改良事業団体連合会			
発注主体	安曇野市(耕地林務課)			
施工				

横断図(4) S=1:100
(重光堰(頭首工))



C1= 9.3
C2= 7.4
B1= 5.2
B2= 5.9

C1= -
C2= 3.7
B1= 19.7
B2= 2.1

C1= -
C2= 6.0
B1= 44.8
B2= 3.9

210.0 (B3= -)

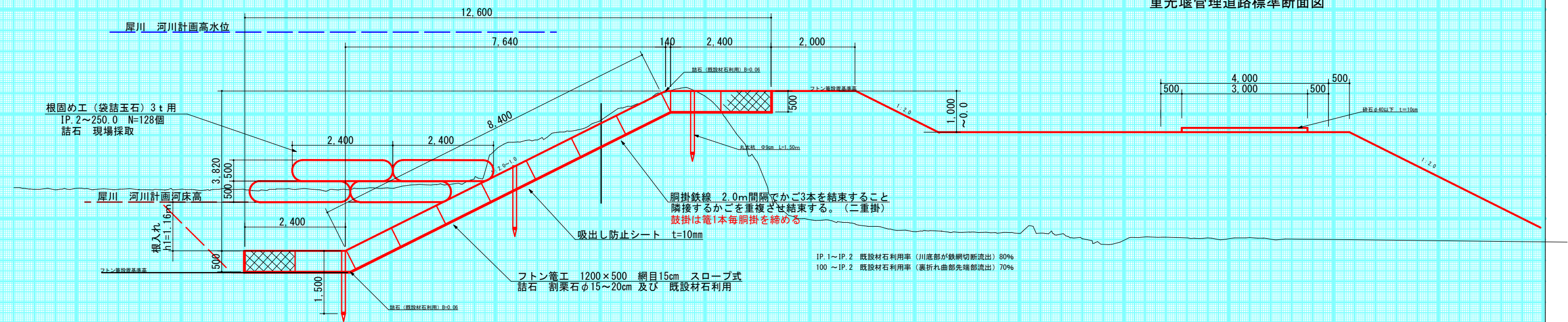
BL1= 2.2

C1= - 掘削
C2= 4.0 床掘
B1= 67.6 盛土
B2= 2.1 埋戻
(B3= 1.2 盛土内数)

※B3：(盛土内数) 施工幅2.5m以上4.0m未満

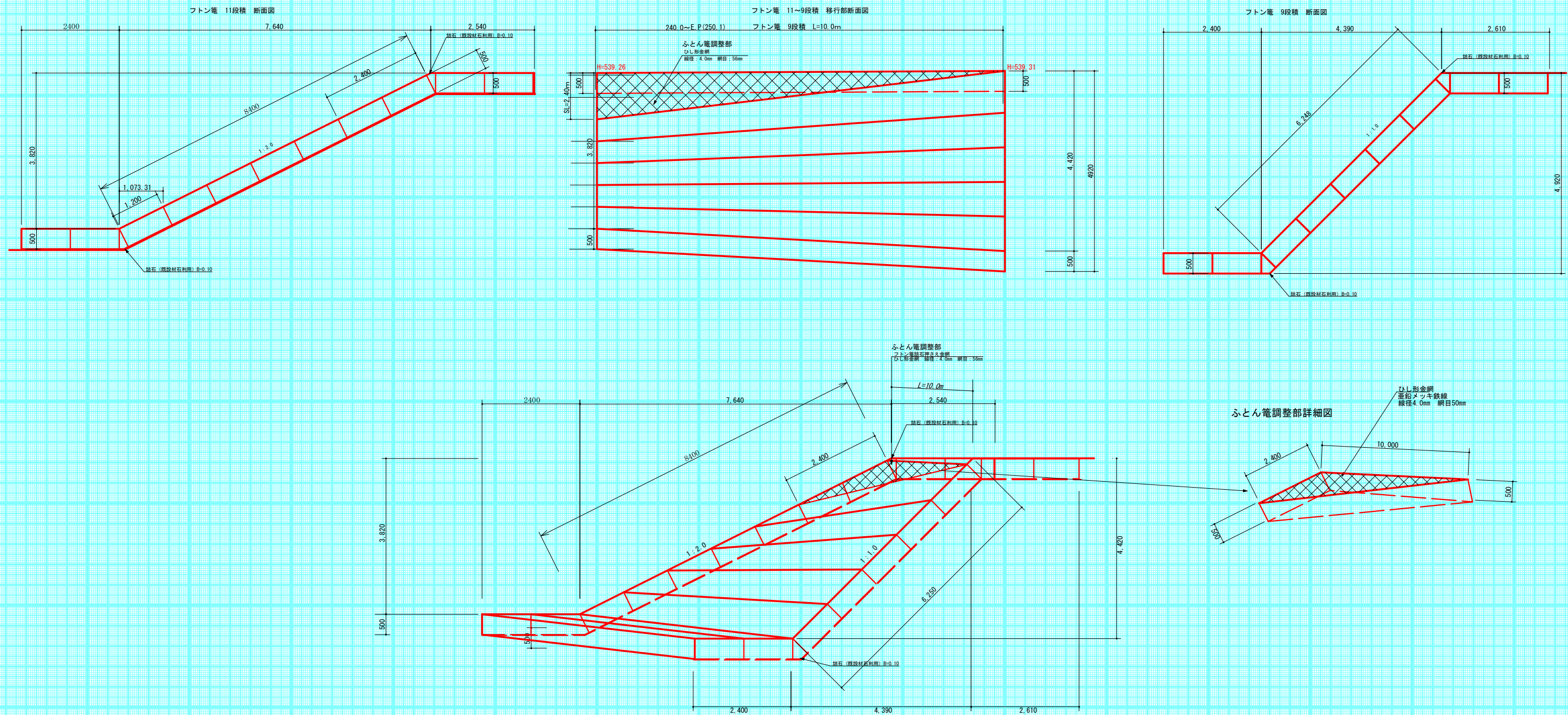
事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区
図面名称	横断面図 (4)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	4 / 4
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

堤体復旧標準断面図 S=1：50



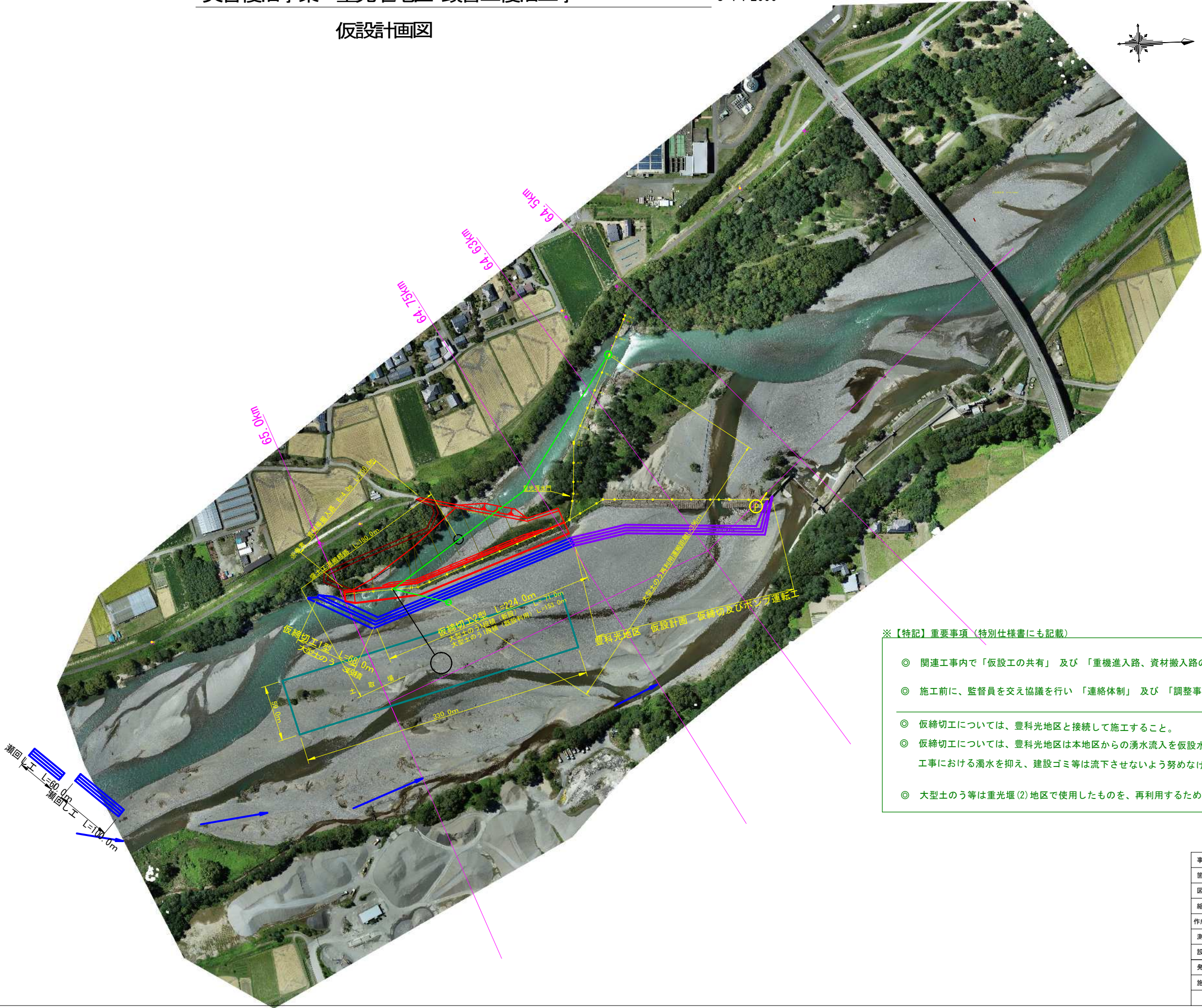
事業名	令和3年 8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区
図面名称	標準断面・配置図		
縮尺	図示（A1）	図面番号	1 / 3
作成年月日	平成 年 月 日		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市（耕地利務課）		
施工			

フトン箆移行部展開図



事業名	令和3年 8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区
図面名称	フトン箆配置図		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	2 / 3
作成年月日	平成 年 月 日		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

仮設計画図



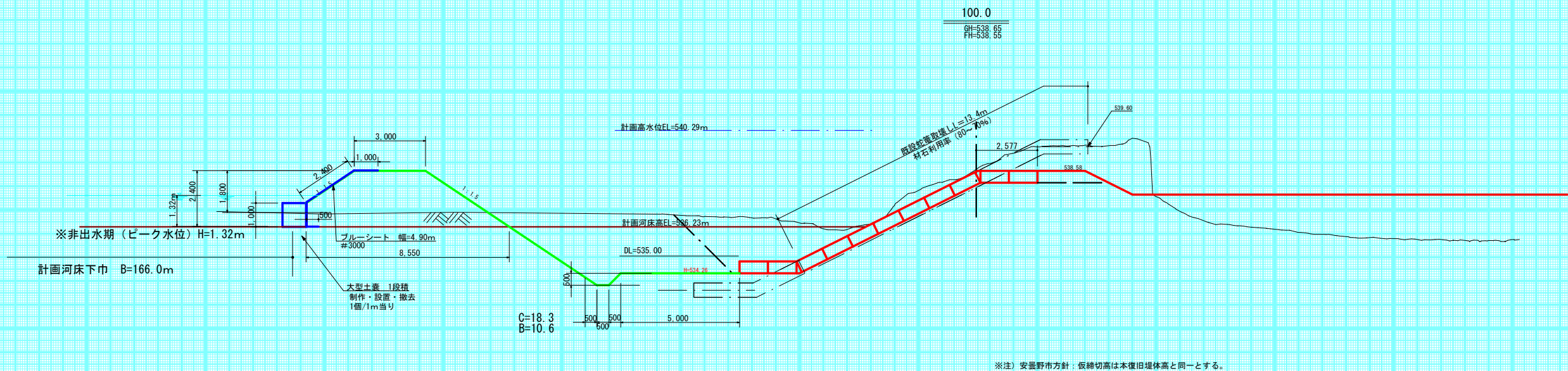
- ※【特記】重要事項（特別仕様書にも記載）
- ◎ 関連工事内で「仮設工の共有」及び「重機進入路、資材搬入路の共有」等が発生する。
 - ◎ 施工前に、監督員を交え協議を行い「連絡体制」及び「調整事項」の内容を決定をすること。
 - ◎ 仮締切工については、豊科光地区と接続して施工すること。
 - ◎ 仮締切工については、豊科光地区は本地区からの湧水流入を仮設水廻しポンプにて処理している、工事における濁水を抑え、建設ゴミ等は流下させないよう努めなければならない。
 - ◎ 大型土のう等は重光堰(2)地区で使用したものを、再利用するため調整を行い運搬する事。

事業名	令和3年 8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰地区
図面名称	仮 設 計 画 図		
縮 尺	図示 (A1)	図面番号	1 / 1
作成年月日	令和 年 月		
測 量	長野県土地改良事業団体連合会		
設 計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施 工			

仮設工 標準断面図

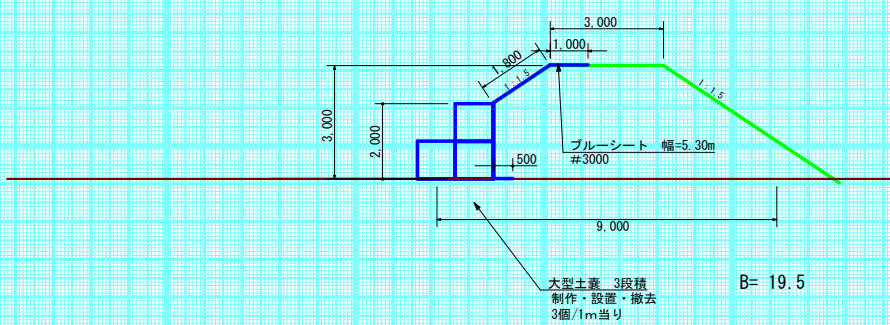
仮締切工2型 標準断面図

(堰堤部)

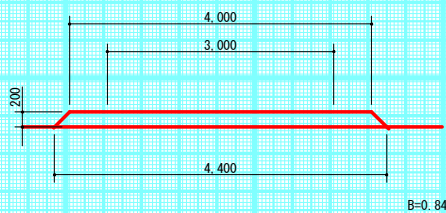


仮締切工1型 標準断面図

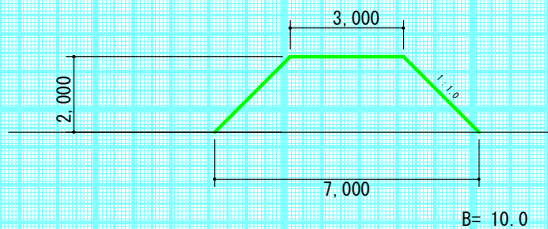
(河川上流部)



※参考 仮設資材運搬道 標準断面図

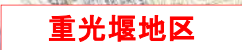


河川瀬回し工標準断面図



事業名	令和3年8月12日～8月15日発生 8月豪雨災害		
箇所番号	502 / 210	地区名	重光堰 地区
図面名称	仮設工 標準断面図		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	3 / 3
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
免注主体	安曇野市 (耕地林務課)		
施工			

重光堰地区 位置図 S=1/25,000(A4)



**令和3年8月12日～8月15日発生8月豪雨災害復旧事業
令和4年度 農業用施設災害復旧事業（R3繰越）重光堰地区 頭首工復旧工事
特別仕様書**

第1章 総則

この工事の施工に当たっては、
長野県農政部制定の「土木工事共通仕様書（最新版適用）」（以下「共通仕様書」という）
「土木工事現場必携（最新版）」、「設計変更ガイドライン（最新版）」、
「土木工事施工管理基準（最新版）」を適用する。
同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

この工事は、表題の事業の一環として「頭首工」を復旧するために行うものである。

2. 工事場所

閲覧設計書に記載のとおり

3. 工事概要

この工事の概要は次のとおりである。

工事施工延長	頭首工復旧L=	244	m
主要工事内訳			
・ 盛土工			V=18100m ³
・ 堰堤工	フトン竈工1200×500		ΣL=2664.0m
(既設材石利用L=1326.0m・購入材使用L=1338.0m)			
・ 止杭打込	末口9cmL=1.50m		n=369本
・ 根固め工	(袋詰玉石)3t用 (詰石は現場採取)		n=128個
・ 指定仮設工	瀬回し工B=3.0mH=2.0m		L=160.0m
・ "	仮締切工1型(大型土のう3段)		L=68.0m
・ "	仮締切工2型(大型土のう1段)新設及び既設利用		L=224.0m

4. 工事数量

別冊金抜設計書による。

第3章 施工条件

1. 工程制限

該当なし。

2. 部分引渡し

該当なし。

3. 工事期間

工期は 契約日 ～ 令和 5年 3月 24日 までとする。

4. 協議関係

- ・ 本工事の着工前に「発注者」との協議を行うこと。また工事概要を書面にて関係者に周知すること。

5. 河川構造物の取り扱い、及び、竣工検査について

- ・ 本頭首工は農業用施設であるため安曇野市が、「国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所」から「占用許可」を取っている。
- ・ 本工事に当たっては、安曇野市が「河川占用許可申請」を行う事になっている。
- ・ 申請後、許可については「令和4年10月」に許可の予定である。

※ 工事完了後に、事業主体とは別に河川事務所の完了検査を行う。

不合格の場合は、施工のやりなおしが生じる可能性がある為、十分に注意すること。

- ・ 河川事務所が行う完了検査の添付図書は、「許可による工作物の新築・改築工事の完成検査の方法」(千曲川河川事務所HP)を基にして作成し、添付図書を2部提出すること。

第4章 現場条件

1. 土質

河川内土砂（玉石）を想定している。

2. 第三者に対する処置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。

3. 公道に隣接する工事

公道の利用または公道に隣接する場合にあたっては、標識・安全施設の設置、工事全般の安全管理上の監視等を十分実施して、安全対策に万全を期すなど、工事の施工にあたっては、これを遵守しなければならない。

4. 建設副産物の処理

別添1のとおり。

河川内工事に伴う不足土は「河川内土砂」を利用するものとする。

5. 関連工事

令和4年度 農業用施設災害復旧事業(R3繰越) 豊科光地区 犀川堰堤復旧工事

令和4年度 農業用施設災害復旧事業(R3繰越) 重光堰(2)地区 水路復旧工事

6. 関係機関との調整

別紙-1「工程関係」のとおり。

第5章 仮設

1. 指定仮設工 【仮設計画図参照】

- | | |
|-----------------------|----------|
| ・ 瀬回し工B=3.0mH=2.0m | L=160.0m |
| ・ 仮締切工1型（大型土のう3段） | L= 68.0m |
| ・ 仮締切工2型（大型土のう1段）新設 | L= 71.0m |
| ・ 仮締切工2型（大型土のう1段）既設利用 | L=153.0m |

1. 任意仮設工 【仮設計画図参照】

- | | | |
|-------------|--------|----------|
| ・ 資材搬入路（参考） | B=4.0m | L=200.0m |
|-------------|--------|----------|

第6章 施工

1. 一般事項

(1) 水準点

この工事の水準点は、図面に示すKBMを使用しなければならない。

(2) 検測又は確認

監督員と打ち合わせをし、必要に応じて確認しなければならない。

2. 土工

共通仕様書「第1編第3章第3節」による。

3. 水路工

共通仕様書「第2編第5章」による。

4. 工事用材料（本体・付帯工・構造物他）

既製品の使用にあたっては、施工協議後速やかに使用承認を得てから設置すること。
本工事で使用する主要材料の規格及び品質、また監督員が指示する材料については、試験成績書等を提出し承認を得なければならない。

5. 施工段階における監督員の確認

監督員による段階確認は、共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-27監督員等による確認及び立会等」に示す時期とし、書面あるいは連絡により依頼しなければならない。

共通仕様書以外の段階確認は、以下に掲げる工種、及び、施工段階において実施するものとする。

工種	確認	確認時期・頻度	備考
測点の確認	施工範囲の確認	契約後	起終点確認
丁張	法線・計画高の確認	丁張設置前後	適宜
堰堤工	計画高等の確認	監督員の指示による	適宜
仮設工	仮締切工の設置箇所	監督員の指示による	適宜
	実延長の確認		
その他	監督員が定めるもの	監督員の指示による	適宜

6. 施工時の注意事項

1. 渡り鳥等が飛来する期間であるため、騒音及び粉塵等を極力抑え、優しい工事に心がけること。
2. 既設蛇籠の詰石を再利用するため、材石量を把握し監督員に報告すること。
3. 仮設工の瀬回し工に使用する大型土のうは、他地区で使用したものを設置するため、入念な作業とすること。

第7章 排出ガス対策型建設機械の使用

別添3のとおり。

第8章 施工管理

1. 施工管理

共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-34施工管理」による。

2. 主任技術者の資格

主任技術者等は別添4「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件の(1)又は(3)の資格を有するものでなければならない。

第9章 条件変更の補足説明

この工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、及び、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

1. 排出ガス対策型建設機械を使用しない場合

第10章 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は、別添5「現場環境改善費項目」のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督員と協議実施する。

(2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。

(3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督員に提出するものとする。

第11章 予想出来形数量の提出

受注者は、遅くとも工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、監督員に提出しなければならない。

第12章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項または、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合には、必要に応じて監督員と協議するものとする。

第13章 その他

1. 工事区域内外の安全について

労働基準法、その他関係法規を厳守し、安全対策に万全を期すこと。

また、資材の仮置場での事故の発生のないように、十分な配慮を行うものとする。

2. 施工計画書の作成について

契約後速やかに起工測量を行い、現場を確認し早期に提出、協議を行うものとする。

3. 主任技術者又は監理技術者の資格要件

別添 4 のとおり。

別添1. 建設副産物に関する取り扱い

1. 共通事項

- (1) 「再生資源の利用促進に関する法律」等に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況（実績）について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、竣工書類とともに提出すること。

なお、これらの記録は工事完成後1年間保存しておくこと。また、各様式については、監督員の指示に従うこと。

- (2) 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分について

ア 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 処理委託は、収集運搬業者と処分業者のそれぞれとの委託契約書を締結すること。

ウ 産業廃棄物処理業の許可証を確認し、委託契約書に許可証の写しを添付すること。

（扱える産業廃棄物の種類、処理方法及び許可の有効期限を確認していること。）

エ 発注者から直接工事を請け負った元請業者が排出事業者となり、元請業者が建設廃棄物の処理責任を負う。

オ 建設廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付すること。

カ 上記アからオについては、竣工検査までに監督員の確認を受け、竣工書類に以下の書類を添付すること。

①収集運搬と処分それぞれの委託契約書の写し（請負業者が両方の許可を持つ場合はひとつ）

②委託契約書に添付された許可証の写し

③マニフェストのA票、B2票、D票、E票の写し（D票、E票については、後日であっても差し支えない。）

④再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真

キ D票がマニフェストを交付した日から90日以内、E票がマニフェストを交付した日から180日以内に送付されていない場合は、地域振興局環境課又は県生活環境部廃棄物監視指導課に報告すること。

ク 請負者が施工計画書に記載又は整備すべき事項

処理方法	1 再資源化 2 破碎処理 3 焼却処理 4 埋立処分場 5 その他			
処理委託先 （業者）	業者名		許可番号	
	住所			
収集運搬委託先 （委託の場合）	業者名		許可番号	
	住所			
その他	資源化の方法など			

・添付書類

- 1) 処理先の許可証の写し及び収集運搬業者の許可証の写し（収集運搬を委託する場合）
- 2) 請負者と処理又は運搬業者との契約書の写し
- 3) 処理業者の所在地及び運搬ルート

2. 分別解体等及び再資源化等の条件

本工事の施工において生じる発生土・特定建設資材及び産業廃棄物の処分については、
下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

(1) 建設発生土（残土及び不足土）

残土処理	任意 指定	地区名	—	運搬距離	—	km
------	----------	-----	---	------	---	----

条件 1. 指定の場合、地区名及び運搬距離を明示する。

2. 距離指定の場合、運搬距離のみ記入し、設計変更の対象とする。

(2) 特定建設資材（建設リサイクル法）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	再利用	
<input type="checkbox"/> セメント・コンクリート塊		
<input type="checkbox"/> 無筋Co	再利用	
<input type="checkbox"/> 鉄筋Co		
<input type="checkbox"/> 二次製品		
<input type="checkbox"/> 建設資材木材		

【備考】 1. 設計上の「処理施設」を明示する。

2. 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

3. 上記条件明示より下回る場合は、変更の対象とする場合がありえる。

4. 現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項については変更の対象とする。

(3) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> 木くず(伐根・伐採材)	再利用	
<input type="checkbox"/> 汚泥		
■ 廃プラスチック		Gフレンドリー
■ 混合廃棄物		しんえこ

別添 3. 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、

「土地改良事業等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和58年2月28日付58構改D第147号）で示す、排出ガス対策型建設機械の使用するものとする。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合でも、平成7年度建設技術評価制度公募課題

「建設機械の装着黒煙浄化装置の開発」または、これと同等の開発目標で実施された、民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督員と協議すること。

排出ガス対策型建設機械あるいは装着黒煙浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

対象機種一覧

一般工事用建設機械	備 考
バックホウ、ローラ類、発動発電機等	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw～260kw）を搭載した建設機械に限る。

【備考】 道路運送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

（注）協議の対象となる場合

- ① 工事地域周辺の市町村にあるリース会社に排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械の在庫がない。
- ② 工事地域周辺の市町村にあるメーカーの販売店から排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械を調達するのに大幅な時間がかかる。
等を証明する書類を提出した場合に限る。

別添 4. 「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件

番号	資 格 の 内 容
(1)	<p>建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(2)	<p>技術検定のうち、検定種目を一級、二級の建設機械施工、若しくは、一級、二級の土木施工管理とするものに合格した者、又は建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p> <p>ただし、監理技術者については、一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(3)	<p>技術士法（昭和32年法律第124号）による二次試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門（選択科目を「農業土木」とするものに限る。）又は林業部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）とするものに合格した者</p>

別添 5 現場環境改善費項目

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備
	②緑化・花壇
	③ライトアップ施設
	④見学路及び椅子の設置
	⑤昇降設備の充実
	⑥環境負荷の低減
Ass営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室、快適トイレの設置を含む）
	②労働者宿舎の快適化
	③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）
	④現場休憩所の快適化
	⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
	②盗難防止対策（警報器等）
	③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む）
	②完成予想図
	③工法説明図
	④工事工程表
	⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
	⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む）
	⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
	⑧パンフレット・工法説明ビデオ
	⑨社会貢献

（参照）工事における現場環境改善費の積算要領
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/genbakankyokaizenhi.html>

工 程 関 係

1)本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので、請負者間相互の連絡・調整を密にして施工すること。

なお、連絡及び調整事項の内容を監督員に報告すること。

発注者	工事名	工期または工事内容等	影響箇所	備 考
<p>【※】特別仕様書 第4章 現場条件のとおりとする。以下は「追加事項」を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連工事内で「仮設工の共用」及び「重機進入路、資材搬入路の共有」等が発生する。 ・ 施工前に、監督員を交え協議を行い「連絡体制」及び「調整事項」の内容を決定すること。 ・ 仮締切工については、豊科光地区と接続して施工すること。 ・ 仮締切工については、豊科光地区は本地区からの湧水流入を仮設水廻しポンプにて処理している、工事における濁水を抑え、建設ゴミ等は流下させないよう努めなければならない。 ・ 大型土のう等は重光堰(2)地区で使用したのを、再利用するため調整を行い運搬すること。 				

(2)本工事において、施工期間及び施工方法等下記の制約条件があるため適切な処置を行うこと。

制約条件	位置等	制約条件及び内容
数量、図面との不一致箇所協議	本工事区間内	契約後現地調査を実施し、数量及び図面との整合を図る。 不一致箇所があれば協議書に図面、写真等を添えて協議すること。
予想出来形展開図の提出	本工事区間内	受注者は、工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、出来高を提出すること。
80%出来形展開図の提出	本工事区間内	監督員の指示による。
その他	本工事区間内	本地区の構造物は「河川占用工作物」である。 構造に関しては「千曲川河川事務所」との協議を行っている。 構造の変更に関する事は、随時、協議すること。 また災害復旧事業である為、工事内容等に関することも、随時協議すること。

(3)本工事において、下記のとおり関係機関及び地域住民との協議をするものとしている。

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 農林部 耕地林務課	本工事に関すること及び その他必要事項	地元対応に関すること。 既設構造物の修繕、改修に関すること。	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
安曇野市 都市建設部 建設課	その他 必要事項	既設構造物の修繕、改修に関すること。	関係課と協議の上
安曇野市 都市建設部 監理課	通行制限方法	工事区間内全面通行止め。 予告看板、迂回路看板等の設置	工期内とする
安曇野市教育委員会	小中学校の 通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
関係区長	工事内容、 工事期間、 迂回路などの説明	上記と同様	契約後即対応のこと
工事区間内住民	上記と同様	関係機関指導のもと (ただし、無理難題が出される場合には、 丁寧に断ることも必要であり、 監督員との協議をすること。 特に工事内容・金額に関わりそうなことは、 忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
工事区間内農地所有者 又は管理者及び工事区 間内への様々な物の搬 出、搬入など	稲刈り時期、その他収 穫時期、工事の進捗及 び耕作上支障となること の協議	上記と同様	上記と同様
周辺店舗など	駐車場、 案内看板などの協議	関係機関指導のもと(ただし、無理難題が出され る場合には、丁寧に断ることも必要であり、監督 員との協議をすること。特に工事金額に関わりそ うなことは忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
支障工作物	特別仕様書内 記載のとおり	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと
その他	必要に応じて 対応すること	上記と同様	苦情、要望など 即対応すること。 また、工期内とする

土木工事における提出書類一覧表

請負契約後提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	着手届			契約毎
2	工程表			契約毎
3	現場代理人、主任(監理)技術者の通知	技術者経歴書の添付 資格証の写し添付		契約毎
4	技術者報告書	2,500万円以上の工事		契約毎
5	監理技術者の資格証の写し	下請金額3,000万円以上になる場合		契約毎
6	社会保険証の写し	現場代理人、主任技術者及び監理技術者のもの		契約毎
7	建退協掛金収納書の提出	800万円以上の工事では契約後1ヶ月以内に提出する。		契約毎
8	工事カルテの提出	工事金額が500万円以上の場合、契約後10日以内にJACIC((財)日本建設情報総合センター)のコリズシステムへ登録し、その「工事カルテ受領書」の写しを提出する。		1回
9	下請負人通知書	下請契約がある場合は、その金額にかかわらず報告すること。 (下請の理由を明確に記入)	各写しを協議書に添付すること。(契約書・請書等、下請業者の資格証、下請現場責任者の資格証等)	必要回数
10	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約がある場合には、全ての工事において作成し提出する。		契約毎
11	前金払請求書	請負業者において前払い金が必要な場合		1回
12	その他	発注者及び請負業者で必要なもの		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事着手前提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	工事施工計画書	詳細は別紙		契約毎
2	工事施工協議書	起工測量結果表等	工事着手後直ちに工事測量を行い、結果を監督員に提出する。	契約毎
		予想出来型展開図	設計図書を基に起工測量結果を考慮して予想出来形展開図を作成する。(発注図面の利用及び舗装面積展開図)	契約毎
		材料承認願	コンクリート二次製品、生コンクリート、アスファルト合材、骨材、その他工事に使用する全ての材料（必要な試験結果は契約日前6月以内であること）	契約毎
		図面との不一致協議		必要回数
		周辺調査・地下埋設物調査・その他各種事前調査資料など		契約毎
3	その他	監督員の指示するもの。		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事中提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	工事施工協議書	協議事項		必要回数
		材料承認願い	変更に伴う材料 (例)使用合材及び使用骨材等の変更など。	必要回数
		予想出来型展開図	構造物の変更または舗装面積の増など。	必要回数
2	技術者等変更通知書	現場代理人、主任技術者等の変更		必要回数
3	工期延長申請書	請負者の責により工期延長する場合	変更工程表の添付(赤黒対象)	必要回数
4	監督員指示書	監督員の指定するもの		必要回数
5	工事変更施工計画書	施工延長の変更、技術者等の変更、工期変更及び下請に変更があった場合		変更毎に
6	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約に変更が生じた場合及び追加が生じた場合は提出する。	各写しを協議書に添付すること。	契約毎
7	事故報告書	事故があった場合		必要回数
8	完成時点予想出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図・雑工関係		80%出来形時
9	工事カルテの提出(変更時)	2,500万円未満は不用。2,500万円以上の場合、金額変更のみの変更登録は不用。なお、登録期限は変更契約時から10日以内とする。ただし、しゅん工時登録と変更時登録の間が10日以内であれば、変更時登録を省略し、しゅん工時に登録することが出来る。	写しを協議書に添付すること	変更契約毎
10	検査記録票 (段階確認用)	監督員が指定した場合には提出すること。		必要回数
11	出来形確認申請書	請負業者において部分払いが必要な場合	業者→発注者	部分払を請求する回数は、安曇野市財務規則第137条による。
12	出来形検査結果通知書		発注者→業者	
13	部分払請求書		業者→発注者	
14	現場休業届	工期の間5日以上休む場合		必要回数
15	休日作業届	休日に作業を行う場合		必要回数
16	その他	監督員の指示するもの。		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事完成時提出書類

種 類		内 容		頻 度
1	コリス登録書(しゅん工時)	2,500万円未満は不用。登録期限はしゅん工日から10日以内とする。	写しを添付すること。竣工検査までに必ず提出する。技術データ登録内容の写し添付。	しゅん工時
2	しゅん工届			しゅん工時
3	請求書			しゅん工時

土木工事における提出書類一覧表

しゅん工書類

種 類		内 容		頻 度
1	目次			契約毎
2	経緯表		施工協議書の受け渡し内容、指示書などを日付順にまとめる。	契約毎
3	施工協議書	発注者側からの協議書(指示書)も含む	日付順にまとめる。	契約毎
4	実施工程表			契約毎
5	工事記録簿(工事日誌)		工期中は空白を作らず、計画・準備・書類整備等も記入すること。	契約毎
6	監督日誌			必要回数
7	検査記録表		各工種すべて	出来形管理基準による
8	使用材料集計表			契約毎
9	各種材料受払簿			契約毎
10	使用材料伝票類	使用材料全て(しゅん工書類とは別冊で提出、検査後会社保管)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
11	100%出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図等	工事完成時の設計寸法を()により記入し、実測寸法を()の外に記入する。	契約毎
12	材料試験結果	埋戻材(発生土・碎石)密度・アスファルト(厚さ・密度)・コンクリート		品質管理基準による
13	再生資源利用実施書 再生資源利用促進実施書		計画書は当初施工計画書に写しを添付し、実施書は媒体を添えて写しを提出する。	必要回数
14	産業廃棄物処理表	A、B2、D、E表の写しを最初、中間、最終を提出すること	検査終了年度から5年間会社管理すること。	写真も一緒にまとめる
15	社内検査資料	書類検査時写真及び検査記録表など		契約毎
16	工事写真		着工前、竣工、品質管理、工種別状況、その他の順番で綴る。	契約毎
17	安全教育資料		写真や安全教育資料など	契約毎
18	交通整理員集計表	伝票を集計したものを添付する。(伝票は使用材料伝票類と一緒に綴ること)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
19	舗装コア	検査時に持参	検査終了年度から5年間会社管理すること。	検査毎
20	その他	監督員が指示するもの		必要回数

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考	
		撮影項目	撮影時期	提出頻度		
着工前・完成	着工前	全景(始点から終点に向 かって及び終点から始点 に向けて撮影)	着工前	着工前各1回		
		施工延長に応じた必要な ポイント				
	完成	着工前と同じ	完成後	完成後各1回		
土工	掘削	掘削状況	施工中			
		掘削深さ	床掘完了後			
		掘削幅				
	床均し	床均し状況	施工中			
	発生土処分	積込み状況	積込み中	処分地及び仮置場が 異なる毎に1回の撮 影とし、着工前各1 回、完成後各1回		
		過積載の確認				
		処分状況 (仮置場含む)	積卸し			
		処分場全景 (仮置場含む)	整地中			
			着工前			
			整地中			
			整地後			
	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	埋戻し	埋戻し及び投入状況	施工中			
		締固め状況				
		1層毎の厚さ・幅	1層毎の発生土埋戻 し完了後			
	コンクリート工	型枠	施工状況	施工中		
			型枠寸法	設置完了後		
		打ち込み	打設状況	施工中		
		出来型	構造物寸法	完了後		
鉄筋工	鉄筋工	施工状況	施工中			
		鉄筋配置寸法	完了後			
二次製品布設	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	捨コン基礎	型枠施工状況	施工中			
		型枠寸法	設置完了後			
		打設状況	施工中			
		厚さ・幅	捨コン完了後			
	敷モルタル	施工状況	施工中			
		厚さ・幅	敷モルタル完了後			
	布設工	布設状況	施工中			
			施工後			

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
その他の構造物	全ての工種	施工状況	施工中	特に埋設されるものは必要以上に写真を残すこと	
		完成状況	施工後		
舗装工	舗装切断	切断状況	施工中		
	舗装取壊し	取壊し状況	施工中		
		積込状況			
		現況舗装厚の検測			
	路盤工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
	表層工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
共通仮設	仮設工	現場事務所等の設置状況	設置後	種類毎に1回	
		仮設トイレの設置状況			
	水替工	ポンプ設置状況	施工中	1施工箇所毎に1回	
		排水状況(吐出先の状況)			
		形状寸法		ポンプ規格が異なる場合は都度1回	
	安全施設	各種標識類の設置	設置後	種類毎に1回	
		各種保安施設の設置			
		監視員・交通整理状況	作業中	配置箇所毎に1回	
		夜間の安全施設の状況	施工中		
		安全訓練の実施状況	実施中	実施毎に1回	
使用材料	使用材料	形状寸法	使用前	使用品目及び使用部材毎に1回	
		検査実施状況	検査時	検査毎に1回	
使用機械	使用機械		使用前	機械毎に1回	

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
品質管理	路床・路体	現場密度の測定	試験実施中		
	路盤工	締固め密度測定	試験実施中		
		プルーフローリング測定	試験実施中		
	アスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	試験実施中	合材の種別毎に1回	
		密度試験			
		採取コアAs量抽出			
		粒度分析試験			
		すべり抵抗試験			
	コンクリート	スランプ試験	試験実施中	試験毎に1回	
		圧縮強度試験			
		塩化物含有量試験			
		空気量測定			
その他	補償関係	被害又は損害状況等	発生時	その都度	
			対応状況後		
	環境対策	各施設設置状況	設置後	種別毎に1回	
	事前調査	樹木、ブロック塀、家屋のクラックなど	着工前	実施箇所毎に1回	
		地下埋設物調査	調査後	実施箇所毎に1回	
	建退協	建退協への加盟写真	実施中	1回	
	施工体制	施工体制図を掲げた写真	実施中	1回	
	安全教育	実施状況	実施中	実施毎に1回	
	KY活動	実施状況	実施中	適宜	

※1 これはひとつの写真撮影例であり、工事現場ごと当該監督員と協議して決定すること。その際は、協議書を添えて協議すること。

※2 現場における黒板及びホワイトボードへ設計値及び実測値を記入すること。また、書類整備においても写真の横にある余白へ設計値及び実測値を記入すること。

※3 しゅん工書類には、区分毎及び測点毎にインデックスをつけること。

資材単価決定調書【見積り単価】

重光堰地区

番号	名称	規格	単位	決定価格(数量)	備考
1	混合廃棄物処理費	(蛇籠鉄線)	kg	50	
2	廃プラ処理費	大型土のう袋等	kg	70	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					